

年 度 評 価 シ ー ト (令和元年度)

課名 障害福祉企画課

施設の名称 静岡市中心身障害児福祉センター 「いこいの家」	指定管理者名 社会福祉法人恩賜財団済生会支部 静岡県済生会																																																
1 履行状況																																																	
業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されており、改善が必要なものについては対応がなされている。																																																	
(1) 維持管理業務																																																	
①健康診断																																																	
<ul style="list-style-type: none"> ・健康相談を年8回、整形外科検診を年2回（例年6回だが、医師の体調不良により回数減）、歯科検診を年1回、検尿を年1回実施し、入園児の健康管理が適正に行われた。 																																																	
②危機管理・防災対策																																																	
<ul style="list-style-type: none"> ・地震・火災等の想定による防災訓練は月1回行われた。救急救命法、防災機器の操作及び家族への引渡しも訓練に取り入れた。また、城東保健福祉エリアの合同訓練への参加により、入園児の安全確保に努めている。 ・消防、警備機器の点検を毎月1回実施した。 ・年3回の防災委員会（定例）を開催し、防災に係る活動計画及び防災対策における必要事項の確認等が行われた。 																																																	
③建物・設備等の保守管理業務																																																	
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、契約の不備を指摘したグリストラップ清掃及び産業廃棄物処理について、適正に委託業務契約を締結して、事務を実施した。 																																																	
(2) 施設利用者数																																																	
①通園事業及び親子教室																																																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;"></th> <th colspan="3">通 園</th> <th colspan="3">親 子 教 室</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">通園日</th> <th style="width: 15%;">延べ人数</th> <th style="width: 15%;">1日平均</th> <th style="width: 15%;">実施回数</th> <th style="width: 15%;">延べ人数</th> <th style="width: 15%;">1回平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">H27年度</td> <td>239日</td> <td>9,321人</td> <td>39.0人</td> <td>204回</td> <td>1,518人</td> <td>7.4人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">H28年度</td> <td>237日</td> <td>9,585人</td> <td>40.4人</td> <td>204回</td> <td>1,473人</td> <td>7.2人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">H29年度</td> <td>240日</td> <td>9,591人</td> <td>40.4人</td> <td>252回</td> <td>1,639人</td> <td>6.5人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">H30年度</td> <td>240日</td> <td>9,916人</td> <td>41.3人</td> <td>238回</td> <td>1,639人</td> <td>6.9人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">R1年度</td> <td>239日</td> <td>9,695人</td> <td>40.6人</td> <td>224回</td> <td>1,628人</td> <td>7.3人</td> </tr> </tbody> </table>		通 園			親 子 教 室			通園日	延べ人数	1日平均	実施回数	延べ人数	1回平均	H27年度	239日	9,321人	39.0人	204回	1,518人	7.4人	H28年度	237日	9,585人	40.4人	204回	1,473人	7.2人	H29年度	240日	9,591人	40.4人	252回	1,639人	6.5人	H30年度	240日	9,916人	41.3人	238回	1,639人	6.9人	R1年度	239日	9,695人	40.6人	224回	1,628人	7.3人
	通 園			親 子 教 室																																													
	通園日	延べ人数	1日平均	実施回数	延べ人数	1回平均																																											
H27年度	239日	9,321人	39.0人	204回	1,518人	7.4人																																											
H28年度	237日	9,585人	40.4人	204回	1,473人	7.2人																																											
H29年度	240日	9,591人	40.4人	252回	1,639人	6.5人																																											
H30年度	240日	9,916人	41.3人	238回	1,639人	6.9人																																											
R1年度	239日	9,695人	40.6人	224回	1,628人	7.3人																																											
※ 親子教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、市からの要請に基づき、令和2年3月は事業を休止した。																																																	

②療育相談

1	通園（進路）相談	いこいの家	16人
		私立幼・保・こども園	35人
		公立こども園	2人
		事業所との並行通園	7人
		事業所	2人
		小計	62人
2	発達相談	51人	
3	入園前面談	4人	
4	入学前発達検査	7人	
計	124人		

・相談ケース数62ケースは前年度（38ケース）

③保育所等訪問支援 ※（ ）内前年度

訪問対策	電話相談	来所相談	園訪問	その他	計
90 (78)	424 (356)	38 (55)	7 (8)	3 (21)	562 (518)

④障害児相談支援 ※（ ）内前年度

面接	電話相談	訪問支援	その他	計
317 (350)	1,304 (1,167)	186 (215)	195 (142)	2,002 (1,874)

一般相談	障がい児支援 利用計画	サービス等 利用計画	モニタリング	計
199 (190)	81 (82)	0 (0)	69 (67)	349 (348)

(3) 事業実施状況

①施設運営関係

- ・利用者の入退所に係る手続き、利用料の徴収等の事務は適正に行われていた。
- ・園内外の学習会を定期的実施し、園外における研修・講習会にも積極的に参加し、職員の資質向上に努めるとともに、実習生やボランティア体験の受け入れを通じ、障がいへの理解促進を図り、保育・療育に携わる者の養成に努めている。

②利用者支援関係

- ・障がいの種別や程度に配慮したクラス分けにより、事業計画のとおり適切な支援が行われた。
- ・市内で唯一の公設児童発達支援センターとして通園・相談事業をはじめ親子教室を実施し、施設の有する専門機能を活かし、利用者のニーズに沿った適切な支援が行われた。また、平成30年度から開始されたあそびのひろば・パステルひろばとも連携し、紹介のあった児童の受け入れを行った。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応等）

利用者からの意見・要望については随時受付けている。ヒヤリハットや事故については、即時対応し、全職員に周知をはかるとともに、市への報告を実施した。苦情については法人の苦情取扱要綱に基づいて対応し、重要な案件については法人が設置している第三者委員会へ報告し、協議することとしている。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 市民アンケート

本施設は、障がいのある児童が通所する施設であるため、利用者が限定されており、広く市民一般を対象としたアンケートは実施していない。

(2) 利用者満足度調査

施設利用者に対して年1回満足度調査を行っていた。今回の調査は正確に答えられやすい質問内容への変更を図り、質問の意味が分からないという意見もなく、50人中49人から回答が得られた。「いこいの家を利用してよかった。」と回答した割合は全体の98パーセントとなり、利用者の多くにとって極めて良好な施設運営がなされていると判断できる。この状態が継続できる体制を維持していただきたい。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務についての収支状況については、概ね良好であるが、人件費の実績額が予算よりも600万円下回っている。これは、職員の産休や、休職等によるものであるため、必要な人材を安定して確保することができるよう努めていただきたい。また、事業費、事務費の支出が伸びているが、これは新型コロナウイルス感染症対策を講じた結果であり、適切な執行であったと判断できる。

5 総合的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	有

令和2年3月に新型コロナウイルス感染症拡大防止のために親子教室を休止したが、事業は概ね計画どおり実施されている。

昨年度のモニタリング調査において指摘した以下の2項目については、いずれも改善がなされていた。

- ①労働契約書の記載項目について、適宜見直しを行うこと。
- ②職員の病気休暇、産休等により業務実施回数に影響が出ないように配慮すること。

しかし、不審者対応をはじめとする防犯訓練を実施されたいという点については、依然として課題に挙げられているため、警察等に協力をお仰ぐなどして、今後、取り組んでいただきたい。

財務運営については、健全な状態であるが、指定管理料を効果的に使用するよう今一度運営・経理状況の見直しをいただきたい。

発達障害についての相談や親子教室についてはニーズが増えているが、これらに対し、利用者に寄り添った支援がなされていることを評価する。今後とも市の施策や他の児童発達支援センター、児童発達支援事業所等の状況を踏まえ、連携し、指定管理者としてよりよいサービス提供ができるように努めていただきたい。